

平成28年度予定額 8.8億円【新規】

目的

日本の大学とアジア諸国の大学の交流枠組みを強化することで、日本の大学がグローバルに展開する力の強化を図るとともに、域内での学生交流数の更なる増加と質保証に関する共通ルールの構築を図り、アジア高等教育圏形成に寄与する。

事業概要

将来のアジア高等教育圏の形成を見据え、アジア諸国(中韓、CLMVを含むASEAN諸国等)の大学と我が国大学との間で質の保証を伴った大学間交流を実施する。

<枠組み>

中、韓、CLMV※を含むASEAN諸国との間で大学コンソーシアムを構築

※C：カンボジア L：ラオス M：ミャンマー V：ベトナム

<取組メニュー>

◇ガイドラインの普及

「学生交流のためのガイドライン※」及び今後策定予定の「留学証明ガイドライン」に基づく学生交流を実施。域内における同ガイドラインの普及拠点形成。

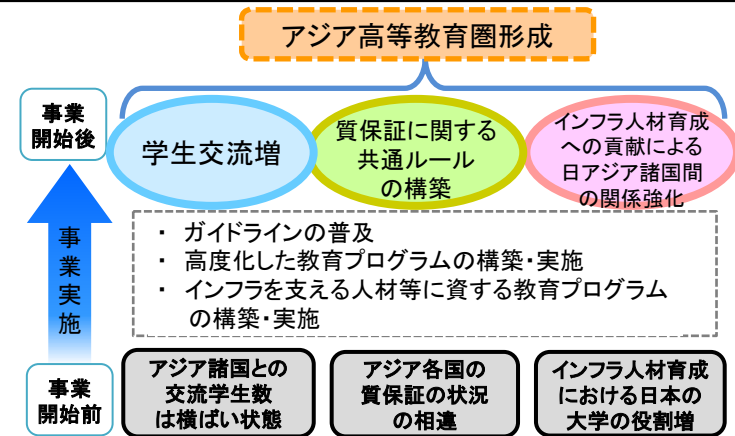
※「アセアン+3高等教育の流動性と質保証に関するワーキング・グループ」において、域内における質の保証を伴った学生交流を促進するためのガイドラインを策定。

◇高度化した教育プログラムの構築・実施

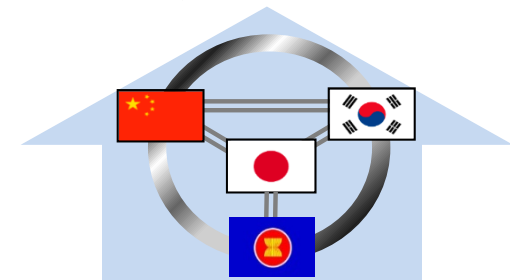
キャンパス・アジアの成果(単位互換、成績評価、学習・生活支援、学習成果等)をベースとして、先進的な教育プログラム(アクティブラーニング、プロジェクトベースラーニング、学習成果を可視化する指標の開発等新たな学びの手法を国際交流プログラムに組み合わせた教育プログラム)を構築・実施

◇インフラストラクチャーを支える人材の育成

インフラを支える人材や社会制度整備を支援する人材の育成に関連する教育プログラムを構築・実施



アジア高等教育圏 ～ASEAN+3～



成果

<事業開始前>

1. 日本とアジア諸国の大学間の交流学生数は横ばい状態
2. アジア各国の質保証の状況の相違
3. アジア諸国のインフラ人材育成における日本の大学の役割増



<事業開始後>

1. 日本とアジア諸国の大学間の交流学生数増
2. アジア諸国における質保証に関する共通ルールの構築
3. アジア諸国のインフラ人材育成への貢献による日アジア諸国間の関係強化
4. 日本の大学のグローバルに展開する力の強化
【アウトプット】教育プログラムの構築数、交流学生数(派遣/受入)

アジア
高等教育圏
形成